

世界史 B

追試験

2023
年度

問題番号 (配点)	設 問	解答番号	正 解	配 点	チ エ ツ ク	
第 1 問 (18)	A	問 1	1	④	3	
		問 2	2	③	3	
		問 3	3	③	3	
	B	問 4	4	①	3	
		問 5	5	②	3	
		問 6	6	④	3	
第 2 問 (28)	A	問 1	7	④	3	
		問 2	8	①	3	
		問 3	9	①	3	
	B	問 4	10	④	4	
		問 5	11	③	3	
		問 6	12	②	3	
	C	問 7	13	②	3	
		問 8	14	③	3	
		問 9	15	①	3	

問題番号 (配点)	設 問	解答番号	正 解	配 点	チ エ ツ ク	
第 3 問 (18)	A	問 1	16	①	3	
		問 2	17	①	3	
		問 3	18	④	3	
	B	問 4	19	④	3	
		問 5	20	①	3	
		問 6	21	⑥	3	
第 4 問 (18)	A	問 1	22	③	3	
		問 2	23	②	3	
		問 3	24	④	3	
	B	問 4	25	①	3	
		問 5	26	③	3	
		問 6	27	②	3	
第 5 問 (18)	A	問 1	28	②	3	
		問 2	29	④	3	
		問 3	30	③	3	
	B	問 4	31	①	3	
		問 5	32	②	3	
		問 6	33	④	3	

自己採点欄
100 点

第1問 — 世界史上の女性の権力者（資料利用）

A 標準 《ヨーロッパの女性の活躍》

問1 1 正解は④

最初の中井さんの会話に「名誉革命を通じて夫と共同で王位に就いた」とあるので、空欄アにはステュアート朝の女王メアリ2世が入る。

- ①不適。ロンドンでは第1回万国博覧会（1851年）がヴィクトリア女王時代に開催されている。
- ②不適。ウォルポールはハノーヴァー朝のジョージ1世によって首相に任命された。
- ③不適。フェリペ2世との結婚でカトリックを復活させたのは、テューダー朝のメアリ1世。
- ④正文。名誉革命後、メアリ2世と夫のウィリアム3世の下で「権利の章典」が制定（1689年）された。

問2 2 正解は③

- ①誤文。ユトレヒト条約はスペイン継承戦争の講和条約。
- ②誤文。プロイセンは七年戦争でイギリスの支援を受けた。
- ③正文。オーストリアのハプスブルク家とフランスのブルボン家が同盟を結び（外交革命）、イタリア戦争以来の両家の対立が解消された。
- ④誤文。マリ=アントワネットはルイ16世の王妃となった。

問3 3 正解は③

教授の2回目の会話で「16世紀以降に活躍した、君主でもその配偶者でもない女性の名前」を調べるように言っている。

- ①不適。ジョゼフィーヌはフランス皇帝ナポレオン1世の配偶者。
- ②不適。ストウは『アンクル=トムの小屋』で奴隷制を批判した。
- ③適切。スパルタクス団を指導したローザ=ルクセンブルクは、ドイツ共産党を創立したが、1919年の蜂起で虐殺された。
- ④不適。百年戦争（1339～1453年）末期に活躍したジャンヌ=ダルクは、15世紀の人物。

B やや難 《西安に関する歴史》

問4 4 正解は①

空欄イは晩年に楊貴妃を寵愛した唐の玄宗（位712～756年）。

- ①適切。唐では、8世紀の玄宗時代に徴兵制の府兵制に代わって傭兵制の募兵制が採用された。
- ②不適。黄巢の乱は唐末の9世紀後半(875～884年)に起こった。
- ③不適。焚書・坑儒が行われたのは、前3世紀の秦の始皇帝時代。
- ④不適。新法党と旧法党の対立が起こったのは、北宋時代の11世紀。

問5 5 正解は②

ガイドの2回目の会話で「西太后も清の同治帝時代以降に実権を握りました」とあるので、同治帝(位1861～75年)以降に清朝が行った事柄を選べばよい。

- ①不適。キャプタ条約は18世紀前半(1727年)に清の雍正帝が結んだ。
- ②適切。同治帝の次に即位した光緒帝の時代には、科擧の廃止(1905年)や憲法大綱の発布(1908年)などの光緒新政が行われた。
- ③不適。軍機処は18世紀前半に清の雍正帝が設置した。
- ④不適。中国では、南京国民政府のもとで1928年から30年にかけて関税自主権の回復に成功した。

問6 6 正解は④

空欄ウに入れる人物の名

蔣介石を捕らえた西安事件(1936年)を起こしたのは、張学良。

下線部㉔の内容の一部を示す資料

中国共産党は1935年に一致抗日と内戦停止を唱える八・一宣言を発した。資料Yに「一切の国力を集中させて抗日救国の神聖な事業のために奮闘できるように、まずは内戦を停止させなければならない」とあるので、これが正しい。資料Xは、第二次世界大戦後の1949年に中国共産党が開催した「中国人民政治協商会議」に関する資料。

第2問 — 君主を中心とする秩序のあり方(資料利用)

A 標準 《ハンガリー王国の王冠》

問1 7 正解は④

- ①誤文。1848年革命の際、ハンガリーではコシュートの指導下で独立政府が樹立された。
- ②誤文。第一次世界大戦の連合国とハンガリーの講和条約は、トリアノン条約。
- ③誤文。ズデーテン地方をドイツに割譲したのはチェコスロヴァキア。
- ④正文。スターリン批判(1956年)を機にハンガリーで民主化運動が起こったが、

ソ連軍の侵攻を受けてナジ=イムレ（ナジ）政権は打倒された。

問2 8 正解は①

- ①**正文**。ルイ=ナポレオンは国民投票（人民投票）で皇帝ナポレオン3世となり、第二帝政を開始した。
- ②**誤文**。ピピンはメロヴィング朝を廃して**カロリング朝**を開いた。
- ③**誤文**。金印勅書によって皇帝選挙の手続きを**整理**、**成文化**した。
- ④**誤文**。ドイツ帝国の皇帝位を兼ねたのは**プロイセン国王**。

問3 9 正解は①

文章から読み取れる内容

リード文から「**聖イシュトヴァーンの王冠**」が**ハンガリー王国の王冠**であることがわかり、また「**18世紀に**」「**マリア=テレジアがハンガリー王に即位することができた**」とあるので、あが正しい。

空欄アに入れる人物について述べた文

マリア=テレジアの息子の**ヨーゼフ2世**は啓蒙専制君主として**宗教寛容令**を發布するなどの諸改革を進めたので、Xが正しい。なお、Y. フランソワ1世と対立したのはカール5世。

B やや難 《ヴィジャヤナガル王国の歴史》

問4 10 正解は④

ティムール朝は14世紀後半（1370年）に成立、またリード文第1段落に「ティムール朝の創始者の子」が「**シャー=ルフ**」とあるので、「**シャー=ルフによる使節派遣**」は年代から考えて**14世紀後半以降から15世紀中の出来事**であると判断したい。

あ. **ヴァスコ=ダ=ガマ**がカリカットに到達したのは**1498年**。

い. **チョーラ朝**は、**11世紀**に東南アジアの**シュリーヴィジャヤ**に遠征した。

以上を年代順に配列すると、④い→**シャー=ルフによる使節派遣**→あとなる。

問5 11 正解は③

空欄イに入れる王朝または国の名

「鄭和の遠征を経て交易拠点として発展した東南アジア」の国は、マレー半島南西岸に位置する**マラッカ王国**。

下線部④に関する説明

X. **適切**。イクター制では、軍人に分与地の徴税権が与えられた。

Y. 不適。奴隷を用いた大規模な農場経営には、古代ローマのラティフンディアや、大航海時代以降のサトウキビ、およびアメリカ南部の綿花のプランテーションなどがある。

問6 12 正解は②

- ①誤文。最後のデリー=スルタン朝（ロディー朝）を滅ぼしたのはムガル帝国を建てたバーブル。
- ②正文。第3段落に、ヴィジャヤナガル王は、「ヒンドゥー王たちの中のスルタン」という称号を持つとある。これは、ヴィジャヤナガル王がヒンドゥー教徒の多いインドの諸王の中でも卓越した地位を表すためにムスリム君主の称号「スルタン」を利用したと判断できる。
- ③誤文。ヴィジャヤナガル王国は14世紀前半の成立で、このときすでにアッバース朝は滅亡（1258年）している。
- ④誤文。ヴィジャヤナガル王国は、「スルタン」の称号によってイスラーム教の権威を利用した。

C 標準 《シャルル7世による王令》

問7 13 正解は②

シャルル7世は百年戦争（1339～1453年）が終結したときのフランス王。空欄工には百年戦争が入る。

- ①誤文。百年戦争で英仏対立の原因となったイングランド王家の所領は、フランス南西部のギエンヌ（ギュイエンヌ）。
- ②正文。イギリスは、フランドル地方に羊毛を輸出していたことから、この地の支配を狙うフランスとの対立が深まった。
- ③誤文。カペー朝が断絶してヴァロワ朝が成立したことでイングランド王がフランス王位継承を主張した。
- ④誤文。重商主義政策は16～18世紀の絶対主義諸国で行われた。

問8 14 正解は③

フランスの絶対王政（絶対主義）はブルボン朝期に全盛を迎えた。

- ①不適。トゥール・ポワティエ間の戦いが行われたのは、フランク王国メロヴィング朝時代の8世紀（732年）。
- ②不適。カペー朝のフランス王フィリップ2世が第3回十字軍に参加したのは12世紀末のこと。
- ③適切。ブルボン朝ルイ13世の宰相リシュリューは、三十年戦争に介入してハブ

スブルク家に対抗した。

- ④不適。第一共和政期（1792～1804年）の1799年、ブリュメール18日のクーデタで総裁政府が倒れ、統領政府が建てられた。

問9 15 正解は①

資料から読み取れる内容

資料の王令の第1段落に「国王によって選任されたいずれかの隊長の下でなければ」「何人も武装」しては「ならない」とあり、あが正しい。

資料の内容を受けて起こった出来事

資料の説明文に「軍事改革」がフランス絶対王政を支える「組織の発展」につながる」とあるので、「常備軍」を述べたXが正しい。

第3問 — 人の移動の歴史（地図利用）

A やや難 《朝鮮王朝の明への朝貢》

問1 16 正解は①

空欄アは後金。

- ①適切。ヌルハチが後金を建て、後にホンタイジが国号を清とした。
②不適。骨品制は新羅の身分制度。
③不適。パスパ文字（パクパ文字）は元のフビライの命で作成された。
④不適。渤海を滅ぼしたのは遼（契丹）。

問2 17 正解は①

明（1368～1644年）の朝貢国には、琉球・朝鮮王朝・日本・ベトナムの黎朝などがある。

- ①適切。琉球は、17世紀初めに薩摩の島津氏の侵攻を受けた。
②不適。シャイレンドラ朝は、ジャワ島を中心に8～9世紀に有力となった。
③不適。18世紀半ばに成立したビルマのコンバウン朝は、イギリスとのビルマ戦争に敗北し、19世紀後半にインド帝国に併合された。
④不適。明軍を退けて建てられたベトナムの黎朝は、儒学を振興した。

問3 18 正解は④

リード文第2段落に賀登極使呉允謙は「自国の都を出発」したとあるので、出発地の都市の位置は朝鮮王朝の都のb. 漢城（現ソウル）である。なお、aは平壤、cは慶州。

目的地の都市の歴史について述べた文

目的地である「明の都」は建国当初は南京に置かれたが、永楽帝（位 1402～24 年）の時代に北京に遷都された。賀登極使呉允謙が出発したのは「1621 年」の「翌年」なので、**遷都後の都である北京について述べた文**を選ぶ。

あ. 不適。太平天国の都が置かれたのは**南京**。

い. **適切**。元の都は、現在の北京にあたる**大都**に置かれた。

B やや難 《地中海におけるヴェネツィアとオスマン帝国》

問 4 **19** 正解は**④**

①誤文。イタリアの諸都市は、東方貿易で主に**香辛料・絹織物などの奢侈品**を取引した。木材などの生活必需品を取引したのは、北海・バルト海を中心とする北ヨーロッパ商業圏。

②誤文。第 4 回十字軍は**ヴェネツィア商人**が主導した。

③誤文。トンブクトゥはアフリカ西部の**ニジェール川流域**の都市。

④**正文**。アフリカ東岸のマリンディ（現ケニア）・ザンジバル（現タンザニア）などは、ムスリム商人がアフリカ内陸部から象牙や奴隷をイスラーム世界に輸出する拠点となった。

問 5 **20** 正解は**①**

起こった出来事

会話文中の下線部㉔に「この図は、15 世紀末から 16 世紀前半までの時期を扱ったもの」とある。

あ. **適切**。マキャヴェリはフィレンツェ（地図中の b）の政治家・思想家で、**16 世紀前半**に『君主論』を著した。

い. 不適。パリ（地図中の a）の伯であったユーグ=カペーがカペー朝を開いたのは、**10 世紀後半**（987 年）。

到着に要する平均期間

b. **フィレンツェ**はヴェネツィアを中心とした最も内側の実線内に位置しており、**V. 1 週間未満**と判断できる。なお、a はパリ、c はウィーン。

問 6 **21** 正解は**⑥**

空欄イに入れる語

「スペインとヴェネツィアなどからなるヨーロッパ諸国の連合艦隊」は、オスマン帝国の艦隊をお. **レパントの海戦**（1571 年）で破った。なお、う. **アクティウムの海戦**（前 31 年）は、アントニウス・クレオパトラの連合軍をオクタウィアヌ

スがギリシア西岸で破った戦い。え、プレヴェザの海戦（1538年）は、オスマン帝国の艦隊がスペイン・ヴェネツィア・ローマ教皇などの連合軍を破った戦い。

空欄ウに入れる文

Z. 正文。オスマン帝国はレパントの海戦敗北後も東地中海を自由に航行し、この後もしばらくオスマン帝国とヨーロッパ諸国との力関係に大きな変化はなかった。

第4問 — 資料の作成者が生きた時代やその立場（資料利用）

A 標準 《アフガニスタンをめぐる英露の対立》

問1 22 正解は③

空欄アに入れる語

「14世紀」のロシアは、い、モンゴルのキプチャク=ハン国の支配下にあった。

意図として考えられる事柄

資料は、イギリス人である「後のインド総督カーゾン」の著作の一部で、彼は、ロシアがかつてモンゴルに支配されていた歴史（「タタール（モンゴル人）のくびき」）を念頭に、「ロシアのくびき」という言葉を使って、ロシアによる支配をアフガニスタンが受け入れていると「確信している」と指摘している。

資料を受けた説明文中には、「アフガニスタンはイギリスの保護国となっていたが、ロシアも引き続き介入を模索」しており、英露両国が緊張関係にあったことが読み取れることから、「ロシアのくびき」は、ロシアのアフガニスタン進出政策を批判的に述べたと考えられるので、Xを選ぶ。

問2 23 正解は②

資料の説明文で「1886年前後の状況を示していると考えられる」とある。

- ①不適。ロシアが日本に遼東半島返還を求めたのは日清戦争後の1895年。
- ②適切。ロシアはコーカンド=ハン国を1876年に併合した。
- ③不適。ロシアが新首都ペテルブルクを建設したのは、北方戦争（1700～21年）中の18世紀。
- ④不適。ロシアがクリミア半島を奪ったのは、18世紀のエカチェリーナ2世時代。

問3 24 正解は④

- ①誤文。ガズナ朝はサーマーン朝から自立（独立）した。
- ②誤文。バクトリアはセレウコス朝から自立した。
- ③誤文。トルコ=イスラーム文化は、ティムール朝の時代などに発展した。クシャーナ朝ではガンダーラ美術が発展した。

④**正文**。ソ連は1979年にアフガニスタンに侵攻した。

B **標準** 《古代ローマ》

問4 **25** 正解は①

①**適切**。『ガリア戦記』の著者カエサルは終身独裁官となった。

②**不適**。オクタウィアヌスは**プトレマイオス朝エジプトのクレオパトラ**と結んだアントニウスに勝利したのち、初代皇帝となって元老院から**アウグストゥス**の称号を得た。

③**不適**。ローマ市民権を帝国内の全自由人に付与したのは**カラカラ帝**であるが、**彼はリード文に出てこない**。

④**不適**。ディオクレティアヌス帝が始めた**四帝分治制（テトラルキア）**は、**2人の正帝と2人の副帝**で分担して統治する体制。

問5 **26** 正解は③

①**不適**。ポンペイウス、カエサル、**クラッスス**が第1回**三頭政治**を行い、政治の実権を握った。

②**不適**。軍艦の漕ぎ手として下層市民（無産市民）の発言力が高まったのは、**古代ギリシアのアテネ**で、サラミスの海戦後のこと。

③**適切**。ローマでは**3世紀**に多くの**軍人皇帝**が擁立された。

④**不適**。第3段落に「軍隊の維持費のために重税が課されたため、政治を担っていた富裕層が弱体化した」とあることから、**重税を課されたのは富裕層**と判断できる。

問6 **27** 正解は②

第1段落に「彼の後の著作」が『法の精神』とあることから、『ローマ人盛衰原因論』の著者はフランスの**モンテスキュー**である。

①**誤文**。モンテスキューは**三権分立**を説き、**王権の制限を主張**した。

②**正文**。モンテスキューはルソーなどと並ぶ**啓蒙思想家**の一人。

③**誤文**。「国際法の祖（国際法の父）」と呼ばれたのは、オランダの**グロティウス**。

④**誤文**。フランス革命に思想的影響を与えたモンテスキューは18世紀に活躍した人物で、**第三共和政**が成立したのは**19世紀後半**のこと。

第5問 — 世界史上の人権侵害や差別（グラフ・図利用）

A 標準 《ナチ強制収容所の歴史》

問1 28 正解は②

教授の2回目の会話の「この法の制定をきっかけに、他の政党が排除され」から空欄アは**全権委任法**だとわかる。この法律は立法権を政府に委譲することを認めたもので、ナチ党の**独裁体制**を確立したため、空欄イにはこれが入る。

問2 29 正解は④

①正文。国際連盟に付置（付設）された**国際労働機関（ILO）**は、**国際連合**に受け継がれた。

②正文。**基本的人権の尊重**を定めた**日本国憲法**は1946年に公布された。

③正文。**ベルリン封鎖**の解除後、1949年に**ドイツ民主共和国**が建国された。その後、東側から西側への亡命者が増加したことから、1961年に**ベルリンの壁**が構築された。

④誤文。1961年に**南アフリカ共和国**が**成立した後**、1991年に**デクラーク政権**の下で**アパルトヘイト（人種隔離政策）**が撤廃された。

問3 30 正解は③

秋山さんの会話から「スターリングラードの戦いで知られる東部での戦争が開始」された後に「『ガス殺などを通じた絶滅』が実行」されたことがわかる。また、ドイツによる**オーストリア併合**は1938年3月、「東部での戦争」である**独ソ戦開始**は**1941年6月**のこと。グラフでは1942年春からナチ強制収容所に収容されていた人数は「増加」しており、**独ソ戦の開戦後、「絶滅」段階に至ったにもかかわらず、収容されていた人数は増加した**と判断できるので、正解は③となる。

B 標準 《アメリカ合衆国によるキューバの保護国化》

問4 31 正解は①

空欄工は、「アメリカ合衆国」が「キューバを保護国化」するきっかけとなったという言葉から**アメリカ=スペイン（米西）戦争**（1898年）と判断できる。

①正文。アメリカ合衆国は、**コロンビア**から独立した**パナマ**に**運河**を開通させた（1914年）。

②誤文。アメリカ合衆国が、**アメリカ=メキシコ（米墨）戦争**（1846～48年）に勝利して**カリフォルニア**を獲得したのは**1848年**なので**アメリカ=スペイン（米西）**

戦争より前。

- ③誤文。アメリカ合衆国はアメリカ=スペイン（米西）戦争後、プエルトリコを併合した。
- ④誤文。ポルトガルとトルデシリャス条約（1494年）などで相互の勢力圏を定めたのは、スペイン。

問5 32 正解は②

空欄オに入れる語

先生の2回目の会話で「海外に植民地を獲得する対外政策を採っていた」とあるので、**帝国主義**と判断したい。

空欄カに入れる語句

先生の2回目の会話で「ウッド将軍は、キューバに自分たちの文明を広げようとしている」「ヨーロッパ諸国にも、自分たちの生活習慣を植民地の人々に教育した例があり」とあるので、Y. **植民地を文明化する**がふさわしい。

問6 33 正解は④

- ①正文。19世紀後半の「新移民」と呼ばれた東欧や南欧からの移民の多くが差別を受け、都市の最下層の労働者となった。
- ②正文。19世紀後半、中国人移民、次いで日本人移民がアメリカ合衆国に流入したが、安価な労働力として警戒されたことから、最初の移民法が1875年に制定された。その後、1882年に中国人移民が禁止され、1924年の移民法でアジアからの移民は全面的に禁止された。
- ③正文。ジャクソン大統領は先住民強制移住法（1830年）を出し、先住民をミシシッピ川以西に追放した。
- ④誤文。南北戦争後、黒人に投票権が与えられたが、南部諸州では19世紀末から州法などによって黒人の投票権が剥奪されるなど、**法的な平等は実現しなかった**。